

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	34° 4' 1"	
				経度	134° 25' 44"	
上車橋 (フリガナ) かみぐるまハシ	町道重松14号線	名西郡石井町石井字重松				
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
石井町	2016.9.16	河川	有	一般道	-	無

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)

点検者				(株)環境防災		点検責任者		梯 義文		
点検時に記録				措置後に記録						
部材名		判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)		措置後の 判定区分		変状の種類		措置及び判定 実施年月日
上部構造	主桁	II	鉄筋露出	写真1、主桁01						
	横桁									
	床版									
下部構造		II	ひびわれ	写真2、下部工02						
支承部		I								
その他		II	舗装の異常、凹凸、腐食、変形、ひびわれ、鉄筋露出	写真3~8、路面、防護柵、 地覆						

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I~IV)

点検時に記録			措置後に記録		
(判定区分)	(所見等) 主桁に部分的な鉄筋露出が見られる。 下部構造に遊離石灰を伴うひびわれが見られる。		(再判定区分)	(再判定実施年月日)	
II					

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員	起点		終点
1970年	26m	4.00m			

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載の

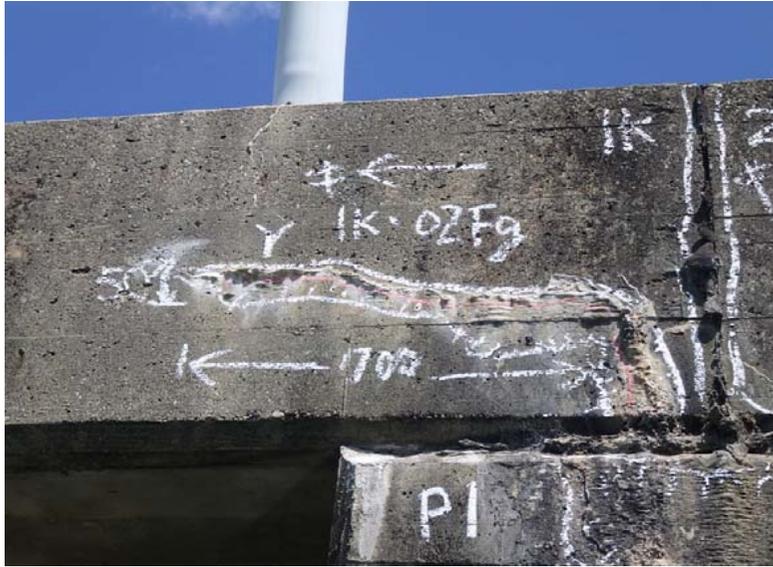
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

<p style="text-align: center;">上部構造(主桁01)【判定区分: Ⅱ】</p> <p>写真1</p> 	<p style="text-align: center;">下部構造(下部工02)【判定区分: Ⅱ】</p> <p>写真2</p> 
<p style="text-align: center;">その他(路面)【判定区分: Ⅱ】</p> <p>写真3</p> 	<p style="text-align: center;">その他(路面)【判定区分: Ⅱ】</p> <p>写真4</p> 

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真に記載の

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

<p>写真5</p> 	<p>写真6</p> 
<p>写真7</p> 	<p>写真8</p> 

その他(防護柵)【判定区分: Ⅱ】

その他(防護柵)【判定区分: Ⅱ】

その他(地覆)【判定区分: Ⅱ】

その他(地覆)【判定区分: Ⅱ】